

- 1 ヤマト王権が、軍事的な指揮権を認めてもらうために中国の南朝へ使者を送った背景として、鉄資源などの確保を目指した地域はどこ？
- 2 3世紀後半からヤマト王権において、各地の豪族を従えていた最高権力者を何という？
- 3 日本各地で首長の墓が作られ、広い範囲で勢力を広げていた当時の政治的なまとまりを何という？
- 4 古墳時代に輸入された鉄を利用して作られ、農業生産力を向上させた道具を何という？
- 5 土を高く盛り上げてつくられた、王や豪族の墓を何という？
- 6 円形と方形を組み合わせた鍵穴のような形をしている、古墳時代に作られた日本最大規模の墓を何という？
- 7 中国の歴史書に記されている、5世紀頃に南朝へ朝貢を行ったヤマト王権の5人の王をまとめて何という？
- 8 6世紀、日本への仏教伝来に際して、その導入に賛成した有力な豪族は誰？
- 9 埼玉県稲荷山古墳から出土した鉄剣に、その名が刻まれているヤマト王権の最高権力者は誰？
- 10 儒教の伝来とともに日本に広まった、孔子の教えを記した書物を何という？
- 11 5世紀ごろ、日本へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々が由来した朝鮮半島の国家を何という？
- 12 ヤマト王権が鉄資源を求めて使者を派遣した、中国の当時の王朝を何という？
- 13 4世紀から7世紀にかけて近畿地方を中心に勢力を広げた勢力を何という？
- 14 大阪府に位置する、日本最大の前方後円墳として世界文化遺産にも登録されている古墳を何という？
- 15 ヤマト王権の支配力が拡大する中、全国に広まった巨大な墳墓の形を何という？
- 16 6世紀半ばに、日本の欽明天皇へ仏像や経典を贈り、仏教を公式に伝えた百済の王は誰？
- 17 5世紀後半にヤマト政権の最高権力者が用いた称号を何という？
- 18 稲荷山古墳などの出土品に名前が刻まれ、その支配が九州から関東まで及んでいたとされる大王は誰？
- 19 中国の歴史書『宋書』に記されている、ワカタケル大王（雄略天皇）と同一人物と考えられる王を何という？
- 20 熊本県和水町にあり、稲荷山古墳と同じ大王の名が刻まれた鉄刀が出土したことで知られる古墳は何という？
- 21 古墳の内部に死者の権威を示すために納められた鏡などの品々を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	ヤマト王権は、半島南部の諸国との交流を強めることで、安定した鉄の供給を図りました。		朝鮮半島	☐
2	ヤマト王権の長は「 大王 （おおきみ）」と呼ばれ、各地の豪族を服属させたり、有力豪族を中央の官職につけたりして国を治めました。		大王	☐
3	ヤマト王権 は、古墳の築造や鉄製品の供給などを通じて各地の豪族を統制しました。		ヤマト王権	☐
4	鉄製の鋤（すき）や鍬（くわ）などの 鉄製農具 が普及したことで、それまで開墾できなかった硬い土地の耕作が可能になりました。		鉄製農具	☐
5			古墳	☐
6	前方後円墳 は、円形と方形を組み合わせた日本独自の形状で、大和地方を中心に全国各地へ広がりました。		前方後円墳	☐
7	記録に残る王は、讃・珍・済・興・武の5人です。		倭の五王	☐
8	蘇我氏 は、百済から伝わった仏教の持つ高度な知識や技術にいち早く目をつけました。		蘇我氏	☐
9	ワカタケル大王 は、当時のヤマト王権の最高権力者で、一般に雄略天皇と同一人物であると考えられています。		ワカタケル大王	☐
10	『 論語 』は、家族の絆や社会での礼儀、指導者としての誠実さを説いた書物です。		論語	☐
11	百済 から移り住んだ渡来人は、先進的な技術を持った職人や学者、僧侶などでした。		百済	☐
12	当時の中国は南北朝時代であり、南方に位置する「 南朝 」と主に外交関係を持っていました。		南朝	☐
13	ヤマト王権 は、近畿地方を中心に各地の豪族と連合して国内を統治する政治組織です。		ヤマト王権	☐
14	大仙古墳 （伝仁徳天皇陵）は、墳丘の長さが約486メートルにも及ぶ日本最大の前方後円墳です。		大仙古墳	☐
15	前方後円墳 は、四角い「前方部」と円形の「後円部」を組み合わせた特徴的な形状で、規模の大きさはそのまま権力の大きさを表していました。		前方後円墳	☐
16	聖明王 は、外交的な贈り物として仏教の教えを選びました。		聖明王	☐
17	この時期の最高権力者は「 大王 （おおきみ）」という称号と呼ばれ、各地の豪族を従えて国を治めました。		大王	☐
18	「 ワカタケル大王 」の名は、埼玉県と熊本県の古墳から出土した鉄剣・鉄刀に象嵌で記されています。		ワカタケル大王	☐
19	中国の歴史書である『宋書』には、倭国の王の名前が記されており、その中の「武」は、国内の遺跡から発見された鉄剣の銘文にある「ワカタケル大王（雄略天皇）」のことだと考えられています。		倭王武	☐
20	江田船山古墳 は、熊本県に位置する5世紀から6世紀頃の古墳です。		江田船山古墳	☐
21	銅鏡、勾玉（まがたま）、鉄製の武器や農具などが代表的な 副葬品 です。		副葬品	☐

言えなかった用語ノート